

パワープレス取扱説明書

GXT1000・GXT1200

GXY1010・GXY1020

御使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読み下さい。
また、必要な時に本書を読めるよう大切に保管して下さい。



注意

本製品を安全に御使用頂くために以下の事をお守り下さい。



- (1) 本機の上型、下型周辺には絶対に手指を近づけないで下さい。
本機は強力な圧縮力を有しております。誤って挟みますと大怪我をする恐れがあります。



- やむなく上型、下型に触れる場合は必ずエア減をストップし、本機が動作しない状態にして下さい。
- (2) 本機を御使用の際には必ず安全メガネを着用して下さい。
上型、下型が破損した際の破片や、切断物の切りクズが飛ぶ恐れがあります。



- (3) 作業内容によっては騒音レベルが 85dB (A) を超える恐れがあります。
防音用具（耳栓等）を御使用下さい。



- (4) 上型、下型の交換の際には必ずエア源をストップし、本機が作動しないようにして下さい。
- (5) 人に向けて使用しないで下さい。
- (6) 御使用にならない時は必ずエア源をストップして下さい。
- (7) 仕様範囲外での作業は行わないで下さい。



お願い

■ 御使用方法

- エアは必ずフィルターを通し、水分を除去した状態で御使用下さい。
- 十分なエアを供給できるよう、エア源のバルブは全開にして下さい。
- エアは、0.5～0.6MPa の範囲内で御使用下さい。
(範囲外での圧力の使用による故障は責任を負いません。)
- No.16 エースボールニップルにエアホースを接続して下さい。
- No.16 エースボールニップルのバルブを開けて下さい。
- No.36 レバーを先端部分のストッパーを前方に倒し、レバーを押して頂くと、本機は作動致します。(下図参照)



《注意事項》◎修理に関しましては当社宛に御依頼下さい。

◎お客様の手による分解、改造による故障は一切の責任を負いかねます。

◎仕様は予告無しに変更する事があります。

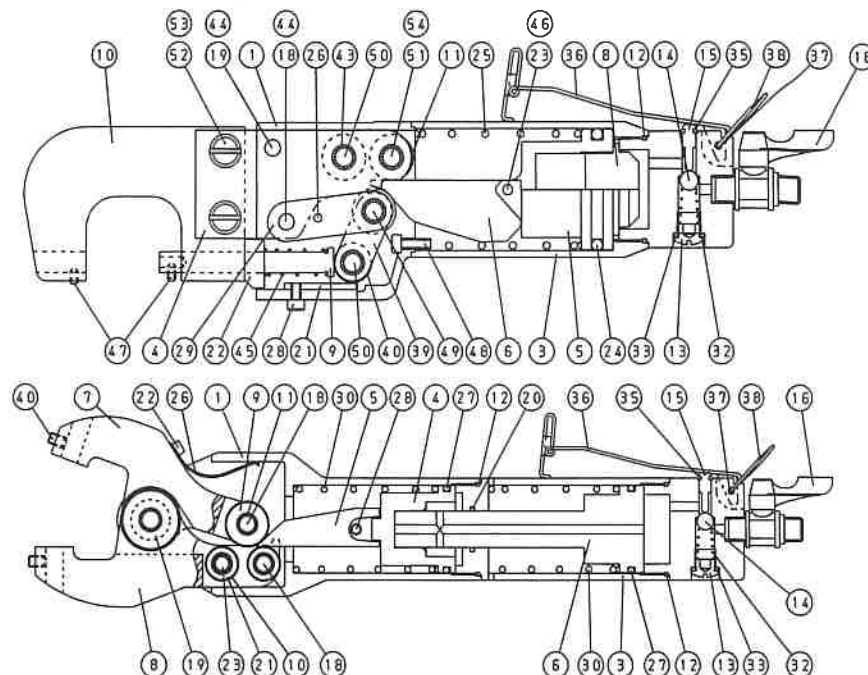


室本鉄工株式会社

●お問い合わせ先

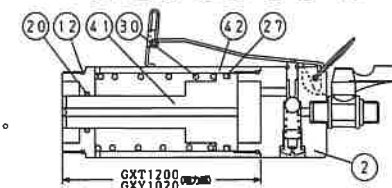
大阪オフィス TEL 072-850-0091 (代)
FAX 072-850-0082

1712



GXT1200、GXY1020 は GXT1000、GXY1010 に増力部、

右図の 12 20 27 30 41 42 を追加した物になります。



品番	部 品 名		品番	部 品 名		品番	部 品 名	
	GXT型	GXY型		GXT型	GXY型		GXT型	GXY型
1	本体 A	本体 A	21	アテ板	ワッシャB	41	ピストンC	ピストンC
2	本体 B	本体 B	22	スピンドルガイド	キャップボルト	42	本体 D	本体 D
3	本体 C	本体 C	23	ピンF	ローラピンB	43	ニードルローラー	
4	ローラー受け台	ピストンA	24	Oリング	E形止め輪	44	E形止め輪	
5	ピストンA	加圧板	25	ピストン戻しバネ	センターネジ	45	スピンドル戻しバネ	
6	押し板	ピストンB	26	ピンE	板バネ	46	E形止め輪	
7		アタッチメントホルダーA	27	Oリング	Oリング	47	セットボルト	
8	ピストンAキャップ	アタッチメントホルダーB	28	キャップボルト	加圧板連結ピン	48	キャップボルト	
9	スピンドル	ローラーA	29	リンクA	E形止め輪	49	ピンD	
10	ヘッド	ローラーB	30	ピストン戻しバネ	ピストン戻しバネ	50	ピンB	
11	ローラー A	ニードルローラー	31			51	ピンG	
12	Oリング	Oリング	32	ウレタンボール戻しバネ	ウレタンボール戻しバネ	52	ボルト	
13	止メネジA	止メネジA	33	Oリング	Oリング	53	六角ナット	
14	ウレタンボール	ウレタンボール	34			54	E形止め輪	
15	エアピン	エアピン	35	Oリング	Oリング			
16	エースボールニップル	エースボールニップル	36	レバー				
17			37	ロールピン	ロールピン			
18	ピンC	ローラピンA	38	フック	フック			
19	ピンA	ワッシャA	39	リンクB	六角ナット			
20	Oリング	Oリング	40	ローラーB	セットボルト			